

【職員記入欄】

(この項目は農林水産省の職員が記入します。)

階層区分	1	2
------	---	---

畜産統計調査

乳用牛調査票

(平成30年2月1日現在)

<畜産統計調査とは>

主要家畜（乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏及びブロイラー）に関する規模別・経営タイプ別飼養戸数及び飼養頭（羽）数等を把握し、我が国の畜産生産の現況を明らかにするとともに、畜産行政推進のための基礎資料を整備することを目的として実施しています。

<調査結果の秘密の保護>

この調査で得られる調査結果は、統計を作成するためだけに使われ、課税等の資料に用いることは、法律で固く禁じられており、調査結果を他に漏らしたりすることはありません。

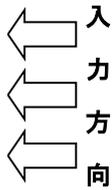
<記入に当たっては、以下のことに注意してください >>

- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
- で囲まれた記入欄は集計項目ですので、必ず記入してください。
ご記入に当たっては記入見本を参考に、数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本

- で囲まれた記入欄は補助欄ですので、必ずしも記入の必要はありませんが、飼養実態などを調査票に正しく御記入いただくために活用してください。
～ 調査や調査票の記入の仕方などに関するお問い合わせは、
下記の「連絡先」までお問い合わせください。～

【連絡先】



【職員記入欄】（この項目は農林水産省の職員が記入します。）

調査年	都道府県	管理番号	市区町村	整理番号	抽出階層
-----	------	------	------	------	------

4 6 1 1

基本指標番号	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

1 状態別飼養頭数

1

2月1日現在、飼っている乳用牛の頭数を記入してください。

乳用牛計 (2)+(5) (1)	経産牛			未經産牛 (5)
	小計 (3)+(4) (2)	搾乳牛 (3)	乾乳牛 (4)	
:	:	:	:	:

未經産牛のうち、**2歳(24か月齢)未満の頭数**を記入してください。

(6)			
:	:	:	:

記入のポイント

経産牛 小計(2) (搾乳牛(3)と乾乳牛(4)の計)

経産牛には、分べん経験のある牛の頭数を記入してください(初産牛も含まれます)。また、『2月別経産牛頭数』の「2月(18)」の値は、この項目と同じ値を記入してください。

搾乳牛(3)

現在、搾乳中の牛の頭数を記入してください。

乾乳牛(4)

現在、搾乳を行っていない牛の頭数を記入してください。また、搾乳経験のある牛で、肉用として肥育中の乳廃牛も乾乳牛に記入してください。

未經産牛(5)

将来搾乳する予定の牛で、また分べん経験のない牛の頭数を記入してください。

同じ値が入ります

2 月別経産牛頭数

過去1年間について、各月1日現在の経産牛の飼養頭数を記入してください。

経産牛 (各月1日現在)	29年3月 (7)	月 (8)	月 (9)	6月 (10)	7月 (11)	8月 (12)
	:	:	:	:	:	:
頭数	9月 (13)	10月 (14)	11月 (15)	12月 (16)	30年1月 (17)	2月 =(2) (18)
	:	:	:	:	:	:

3 月別分べん頭数及び乳用向けめすの出生頭数

(1) 月別分べん頭数

過去1年間について、各月ごとに分べんを行った母牛の頭数を記入してください。

分べん (各月の計)	29年2月 (19)	3月 (20)	4月 (21)	5月 (22)	6月 (23)	7月 (24)
	:	:	:	:	:	:
頭数	8月 (25)	9月 (26)	10月 (27)	11月 (28)	12月 (29)	30年1月 (30)
	:	:	:	:	:	:

(2) 月別乳用向けめすの出生頭数

過去1年間について、各月ごとに生まれた乳用種のめす牛(交雑種(F1)を除く)の頭数(上段)と、生まれた牛のうち搾乳用とする予定の牛の頭数(下段)を記入してください。

	29年 2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
乳用種のめす牛の出生頭数	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)
出生牛のうち搾乳用とする予定牛						
	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	30年 1 月
乳用種のめす牛の出生頭数	(37)	(38)	(39)	(40)	(41)	(42)
出生牛のうち搾乳用とする予定牛						

以下の4及び5の項目については、表紙の階層区分が「1」の場合のみ記入してください。

4 経営耕地・飼料作物の作付実面積状況

過去1年間について、経営耕地面積及び飼料作物の作付実面積を記入してください。

経営耕地面積のうち、飼料作物を作付した実面積を田畑別に記入してください。

経営耕地面積 (43) ha a	飼料面積(実面積) (45)+(46)	田	畑
	(44) ha a	(45) ha a	(46) ha a

経営耕地面積(43)
経営耕地面積には、飼養者の方が農作物の栽培のために所持している土地(借入地も含む)の合計を記入してください。
経営耕地には、肥培管理(播種や耕起)を行っている牧草専用地も含まれます。
なお、借入地には、賃借料を払って又は無償で借り入れている土地を含みます。

飼料作物の作付実面積(44)
経営耕地のうち、飼料作物を作付けた実面積を記入してください。
飼料作物とは、飼料とするための飼料米、牧草、青刈りとうもろこし、ソルゴー、青刈り麦類などをいいます。

飼料作物を作付けた実面積のうち、借入地への作付けがありましたら、実面積を田畑別に記入してください。

田の借入地	畑の借入地
(47) ha a	(48) ha a

5 放牧の状況

過去1年間に放牧した乳用牛の頭数を記入してください。

放牧頭数	放牧頭数のうち、成牛の頭数を記入してください。
(49)	(50)

💡 記入のポイント 💡

放牧頭数(49)

放牧頭数には、牛を運動させることを主な目的とした、運動場などで放し飼いをしている牛は含めません。

成牛の頭数(50)

- 成牛とは、以下の牛をいいます。
- 2歳(24か月齢)以上の牛
 - 2歳(24か月齢)未満であっても搾乳経験のある牛

◎ 調査に御協力いただき、大変ありがとうございました。
調査事項はここまでですが、お手数でなければ裏面の【記事欄】にも御記入願います。

【記事欄】

差支えなければ、飼養頭数の増減理由等について御記入願います。

SAMPLE